

5/6号設備運用状況

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	9月					10月			11月	12月	備考					
				2	9	16	23	30	7	14	下	上	中		下	前	後		
5/6号設備運用状況	運用管理	1. 設備維持	DG、冷却設備等の維持	(実績) 計画的な点検の実施 (予定) 計画的な点検の実施	5号機計画点検の実施 (2018/5/21~2019/7/19)														5、6号機の設備維持に必要な計画点検の実施。 ・次回6号機計画点検予定時期：2019/7/29~2020/5/28
		2. 使用済燃料の冷却	5号機使用済燃料の冷却	(実績) 使用済燃料の冷却継続(2015/6/1使用済燃料プールへの燃料移動完了) (予定) 使用済燃料の冷却継続	使用済燃料の冷却継続														5号使用済燃料プールからの取り出しについては、1-3号機使用済燃料プールからの燃料取り出しのスケジュールに影響を与えないよう実施予定。
			6号機使用済燃料の冷却	(実績) 使用済燃料の冷却継続(2013/11/29使用済燃料プールへの燃料移動完了) (予定) 使用済燃料の冷却継続	使用済燃料の冷却継続														6号使用済燃料プールからの取り出しについては、1-3号機使用済燃料プールからの燃料取り出しのスケジュールに影響を与えないよう実施予定。
		3. 滞留水の処理	建屋滞留水移送・処理	(実績) ・滞留水移送・処理 ・浄化ユニット設置・タンク増設・IBRO装置撤去準備工事 (予定) ・滞留水移送・処理 ・浄化ユニット設置・タンク増設・IBRO装置撤去準備工事	滞留水移送・処理														建屋内の滞留水を屋外タンクに移送後、RO装置にて処理後、構内取水。 ・2017年5月23日：実施計画変更認可申請 ・2018年6月21日：認可
			サブドレンの復旧	(実績) サブドレン設備復旧方針検討 (予定) サブドレン設備復旧方針検討	サブドレン設備復旧方法検討														既設サブドレンの排水井はがれきの除去、浄化およびポンプは復旧済み。 移送ラインおよびサンプリングタンク設置済み。
		4. 新燃料の搬出	6号機の新燃料の除染・搬出	(実績) ・新燃料の除染方法検討 ・準備作業 (予定) ・準備作業 ・解体・除染・再組立	準備作業														2018年8月下旬から搬出準備作業を開始。 搬出時期は未定。 ・2018年4月24日：実施計画変更認可申請

福島第一原子力発電所 5・6号機の現状について

(5・6号機 低レベル滞留水量の状況)

2018年9月27日

東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

1. 5・6号機 低レベル滞留水量※の状況

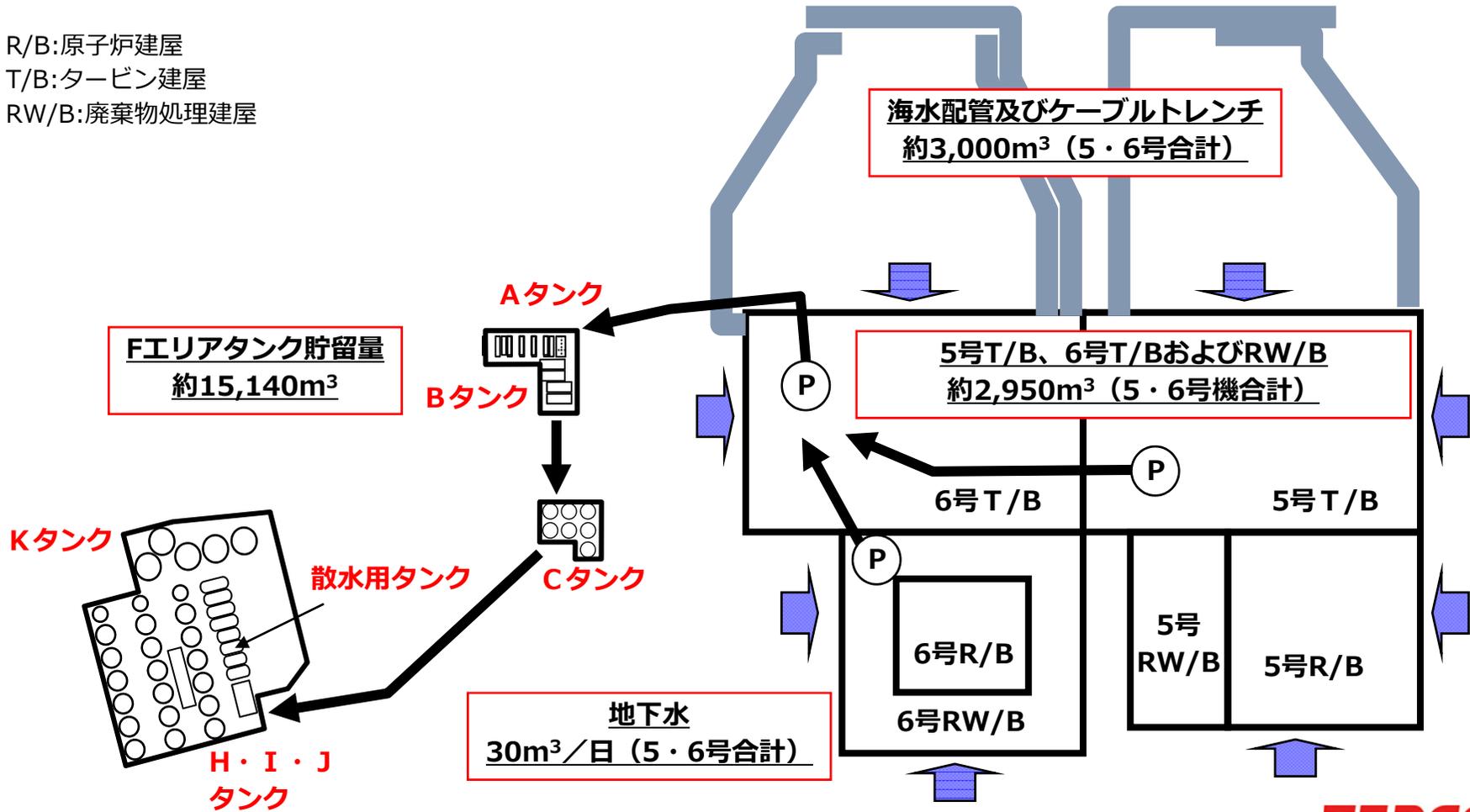
5・6号機 低レベル滞留水の合計約30,090m³ (H30.9.20現在)

メガフロート
約9,000m³ (ろ過水, 海水)

海



R/B:原子炉建屋
T/B:タービン建屋
RW/B:廃棄物処理建屋

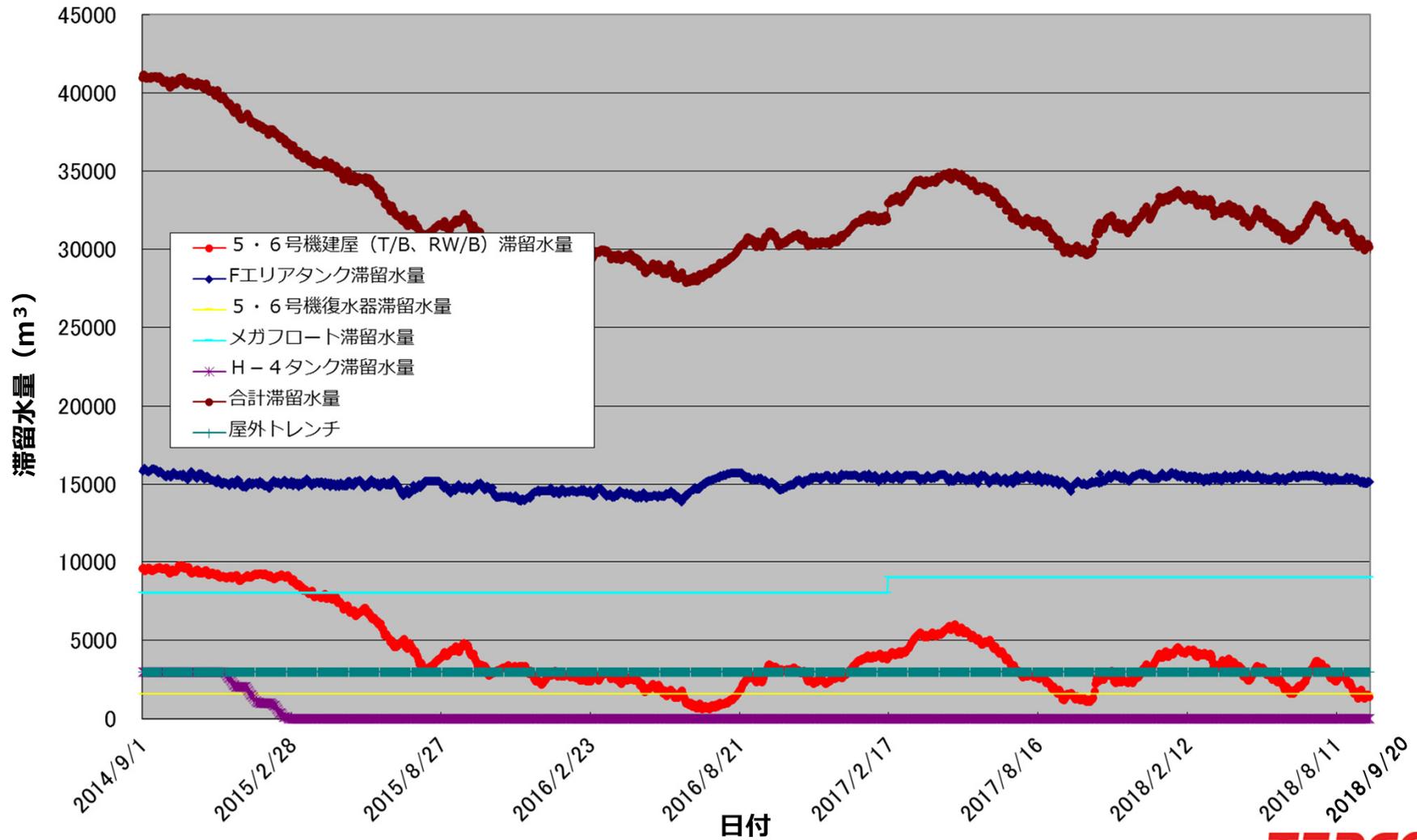


※低レベル滞留水：5・6号機滞留水は、1－4号機滞留水と比べ放射能濃度が十分低いため、区別する目的で「低レベル滞留水」と記載する。

2. 5・6号機 低レベル滞留水量の推移

- 2014年9月から2018年9月までの5・6号機 低レベル滞留水量の推移は以下のとおり

5・6号機滞留水量の推移



福島第一 5・6号機新燃料の所外搬出の 計画変更について

2018年9月27日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. 新燃料の所外搬出について

- 福島第一廃止措置の準備を計画的に進めることを目的として、5・6号機に保管中の新燃料（5号機168体、6号機192体）について燃料加工メーカー（原子燃料工業）への搬出を計画している。
- 2018年8月20日より、6号機オペフロにて準備作業を開始した。
- 2018年度第4四半期より新燃料を搬出する予定であったが、受入先の原子燃料工業にて追加の新規制基準対応工事が必要となり、2018年度第4四半期の搬出が不可となったため、2019年度以降に延期する。

2. 今後の対応について

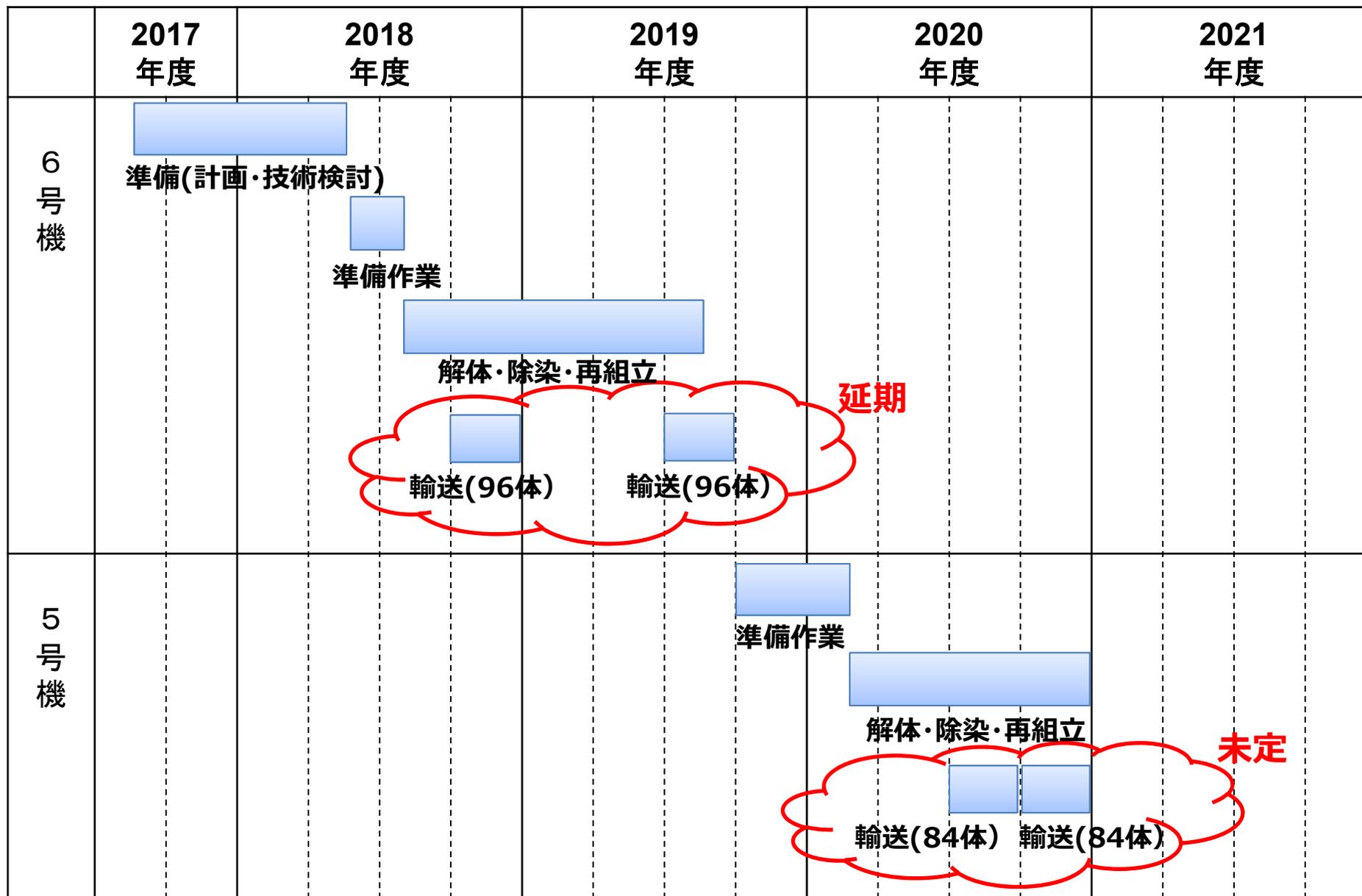
原子燃料工業における状況

- 当初、燃料受入先として「地下式集合体貯蔵庫」を検討していたが、追加の新規制基準対応工事が必要となり、2018年度第4四半期までに、当該貯蔵庫を含む建屋全体の適合確認が完了しない見込みとなった。
- 当該貯蔵庫に加え、別の貯蔵場所も候補に、新規制基準への対応や受入準備を進める。

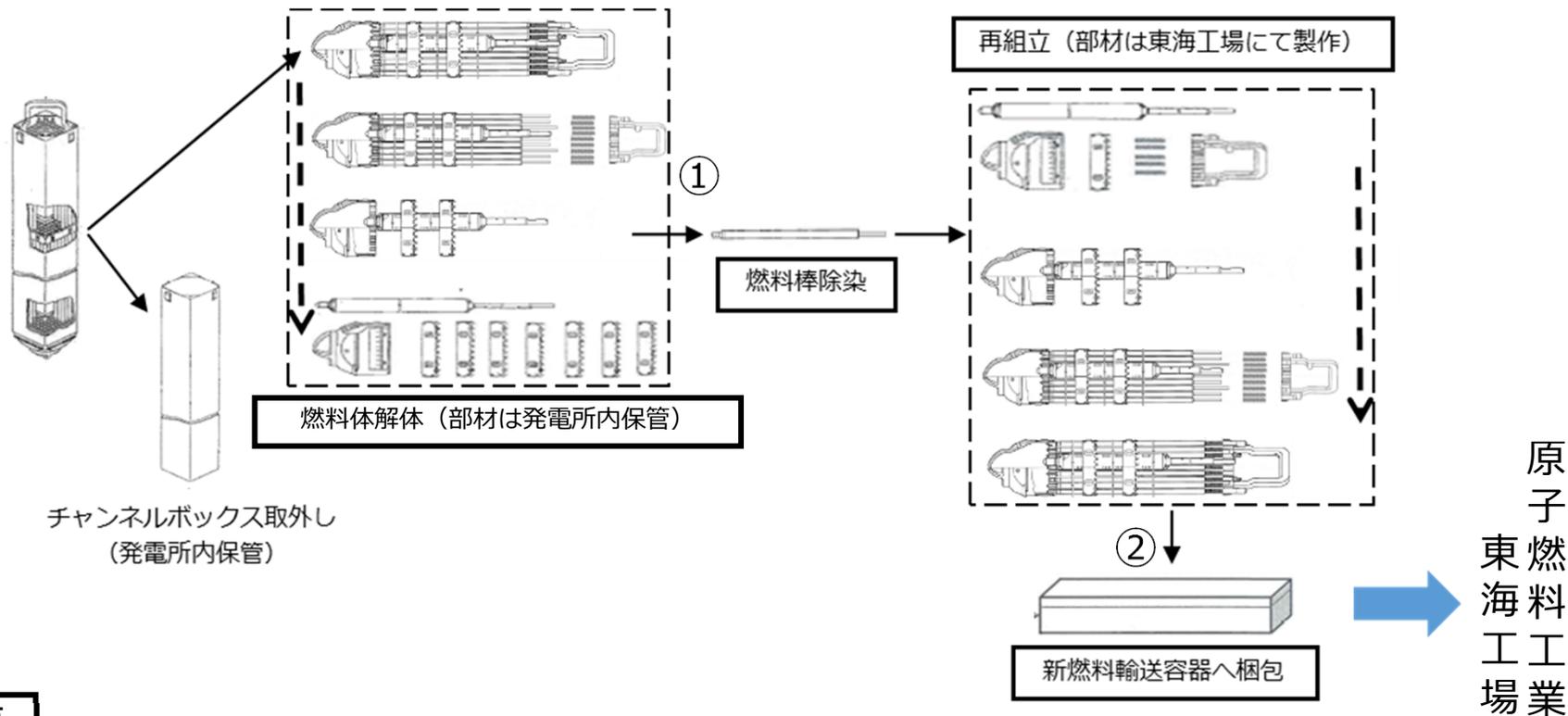
当社における今後の進め方

- 搬出準備として、新燃料の解体・除染・再組立を行い、搬出までの間はオペフロにある新燃料貯蔵庫で引き続き貯蔵する。
- 原子燃料工業の受入体制が整い次第、新燃料を搬出する。

3. 所外搬出スケジュール



【参考】 所外搬出作業概要



概要

- ① 発電所構内で燃料体を解体し、検出限界未満まで燃料棒の表面を除染
 - ② 燃料の再組立を行い、原子燃料工業東海工場へ搬出 (通常の新燃料輸送に用いる輸送容器に梱包)
- 発電所での解体・除染・再組立作業は中部電力浜岡原子力発電所で実績あり
 - 福島第一では5・6号機オペフロにて水の吹き付けによる除染を追加